

証券コード 7594

2018年11月期 第2四半期

決算説明会

2018年7月17日

日米中亞4極体制

グローバルバージョンII

新たな幕開け

変革の刻

ASIA

CHINA

the Americas

JAPAN

MARUKA

目次

1.	2018年11月期第2四半期決算の概要	
	① 2018年11月期第2四半期決算	4
	② 産業機械部門の業績	13
	③ 建設機械部門の業績	18
2.	2018年11月期業績予想及び営業戦略の進捗	
	① 2018年11月期業績予想	22
	② 営業戦略の進捗(産業機械・グローバル機材部門)	24
	③ 営業戦略の進捗(建設機械部門)	27
	④ トピックス	29
	⑤ 株主還元	31
	(補足資料)	
	会社の概要	32

2018年11月期第2四半期 決算の概要 (2017年12月1日～2018年5月31日)

第2四半期決算の要点

売上高は、産業機械の販売が好調に推移し、前年同期比23.2%増
経常利益は、売上総利益の増加により、前年同期比24.8%増
四半期純利益は、前年同期比17.7%増

産業機械部門は、自動車業界向けの販売が好調で前年同期比24.9%増
建設機械部門は、主力のクレーンの販売が伸長し前年同期比15.9%増

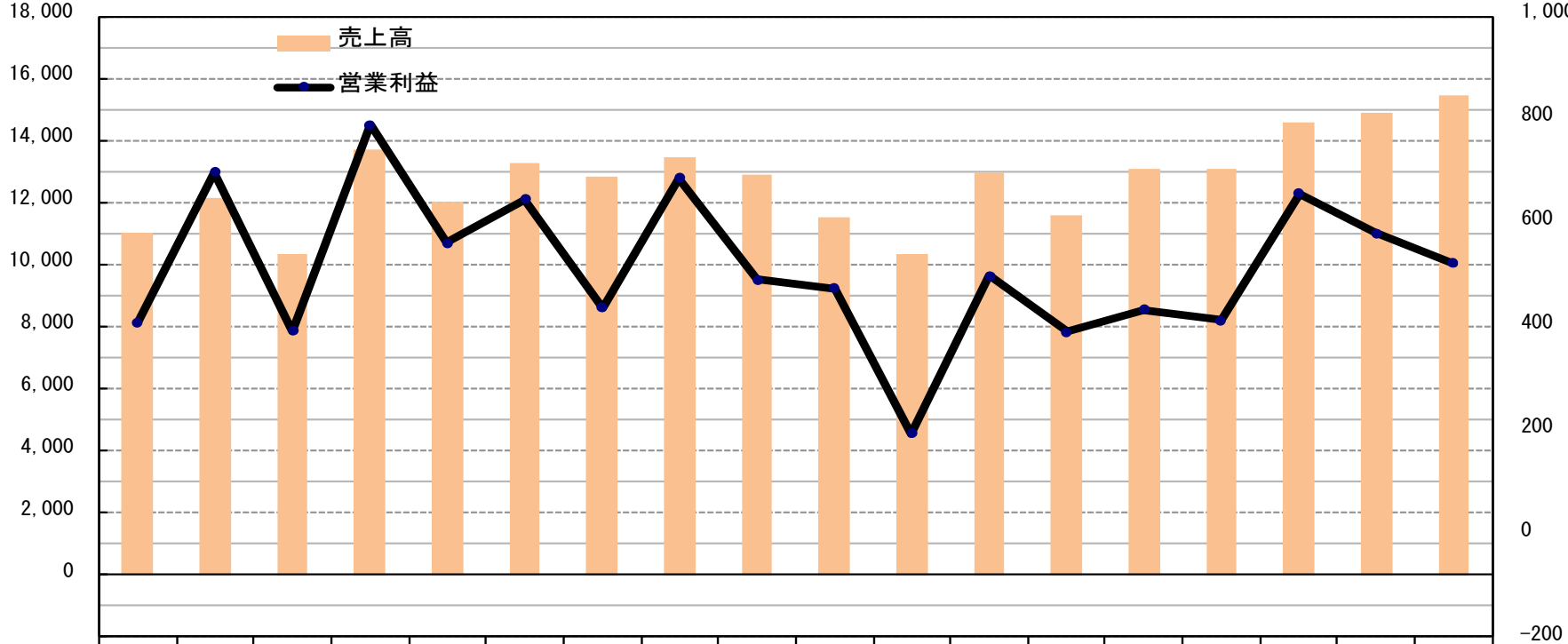
国内売上高は主力商品の販売が伸長し、前年同期比39.3%増の162億円
海外売上高は前年同期比8.7%増（海外売上高比率46.40%に低下）

米国は自動車、医療業界を中心に射出成形機部門が好調で増収増益
中国向けに工作機械や環境設備の販売が伸長

四半期業績の推移

売上高: 百万円

営業利益: 百万円



	14/111Q	14/112Q	14/113Q	14/114Q	15/111Q	15/112Q	15/113Q	15/114Q	16/111Q	16/112Q	16/113Q	16/114Q	17/111Q	17/112Q	17/113Q	17/114Q	18/111Q	18/112Q
売上高	10,998	12,175	10,357	13,726	11,999	13,300	12,824	13,469	12,905	11,535	10,310	12,957	11,597	13,071	13,084	14,611	14,915	15,469
営業利益	408	699	392	790	562	647	436	688	491	474	192	499	390	433	413	658	580	523

単位: 百万円

	14/11期		15/11期		16/11期		17/11期		18/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
売上高	23,173	24,083	25,299	26,293	24,441	23,266	24,668	27,694	30,384
営業利益	1,107	1,182	1,209	1,182	965	691	823	1,071	1,103

第2四半期決算の概要

- 主力商品の販売が好調を維持。産業機械、建設機械とも二桁増収増益
- 販管比率の低下と為替の安定により、経常増益

単位:百万円

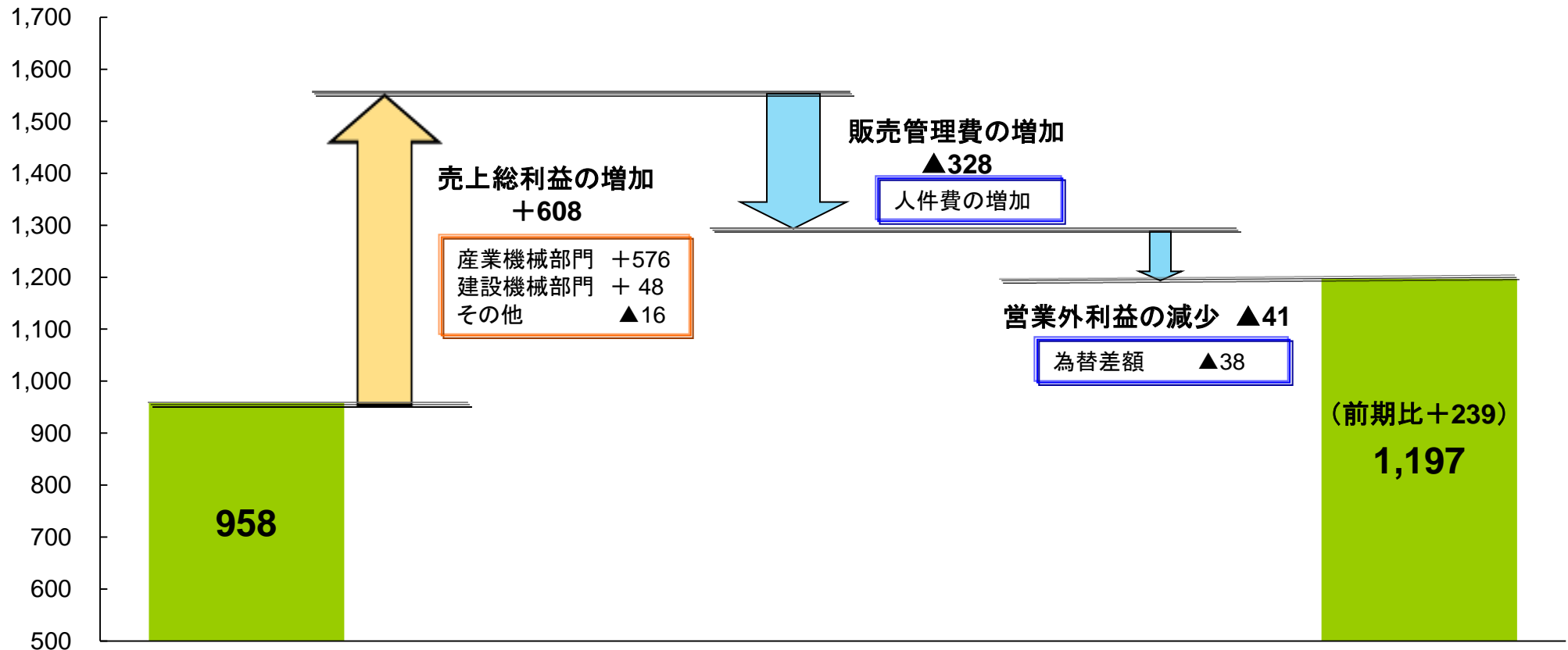
	17/11期 上期		18/11期 上期		前年 同期比 (%)	期初計画 (18/1/15)	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	24,668	100.0	30,384	100.0	23.2	28,000	8.5
産業機械	20,483	83.0	25,577	84.2	24.9	23,471	9.0
建設機械	4,124	16.7	4,778	15.7	15.9	4,500	6.2
その他	61	0.3	28	0.1	▲ 52.7	29	▲ 0.3
売上総利益	3,606	14.6	4,214	13.9	16.9	3,966	6.3
販売管理費	2,783	11.3	3,111	10.2	11.8	2,910	6.9
営業利益	823	3.3	1,103	3.6	34.1	1,050	5.1
経常利益	958	3.9	1,197	3.9	24.8	1,140	5.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	613	2.5	721	2.4	17.7	740	▲ 2.5
1株当たり四半期純利益	71.43	—	85.14	—	—	86.64円	—

1株当たり配当金	17円	—	20円	—	+3円	19円	+1円
人	592人	—	617人	—	+25人	—	—

経常利益変動要因

- 売上総利益は、産業機械部門の貢献で大幅増
- 人件費等の増加により、販売管理費が増加

(単位:百万円)



17/11期上期

18/11期上期

販売管理費の内訳

■ 主な増加要因は、従業員向け株式給付制度の導入による人件費の増加

単位：百万円

	17/11期上期	18/11期上期	増減額	主な要因
人件費	1,607	1,755	147	従業員向け株式給付
旅費・交通費など	343	345	2	
営繕・事務用品など	71	91	19	
減価償却費	43	66	22	新社屋償却費
その他	717	852	136	貸倒引当金繰入額 北九金物工具(株)取得費用
合計	2,783	3,111	328	

第2四半期末貸借対照表

有利子負債の減少は、主に子会社(マルカアメリカ、マルカ上海、管製作所)の銀行借入返済

単位:百万円

資産			
	17/11期末	18年11期 上期末	備 考
現金預金	8,168	8,827	
売上債権	18,224	19,826	受取手形 513 電子記録債権 795
その他流動資産	6,434	5,896	有価証券▲400
有形固定資産	6,505	6,555	
無形固定資産	435	389	
その他固定資産	1,763	1,819	
総資産	41,531	43,315	

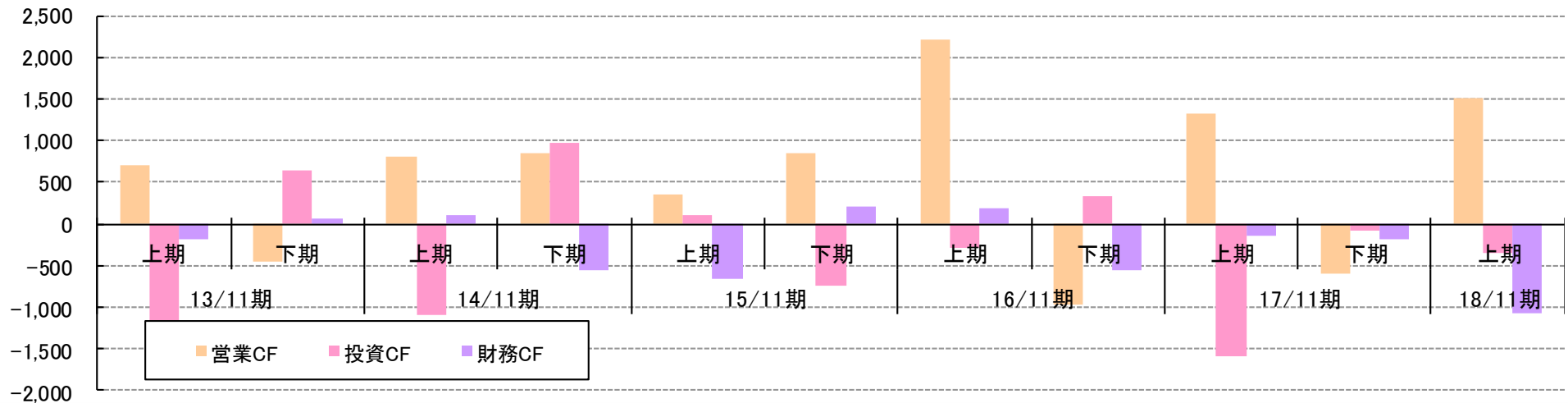
負債			
	17/11期末	18年11期 上期末	備 考
仕入債務	16,800	18,584	電子記録債務 1,784
短期有利子負債	674	97	借入金(マルカアメリカ ▲196百 万円、マルカ上海 ▲221百万 円、管製作所▲180百万円)
その他流動負債	3,209	3,770	前受金 534
長期有利子負債	327	318	
その他固定負債	657	518	
負債	21,670	23,289	
純資産	19,861	20,025	剰余金の配当(▲198百万 円)、自己株式の取得(▲ 276百万円)、四半期純利 益の計上(721百万円)

キャッシュフローの推移

単位:百万円

	13/11期		14/11期		15/11期		16/11期		17/11期		18/11期
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期
営業活動によるCF	703	▲455	816	846	357	849	2,221	▲975	1,333	▲590	1,515
投資活動によるCF	▲1,323	651	▲1,089	981	101	▲748	▲288	334	▲1,598	▲73	▲344
フリーキャッシュフロー	▲620	196	▲273	1,827	458	101	1,933	▲641	▲265	▲663	1,171
財務活動によるCF	▲178	58	113	▲559	▲665	219	195	▲551	▲135	▲181	▲1,066
期末現金残高	7,019	7,401	7,274	8,680	8,698	8,723	10,724	9,398	8,993	8,144	8,254
設備投資額	198	230	175	122	200	370	88	752	1,450	811	186
減価償却費	88	106	125	133	99	111	119	133	136	173	155

単位:百万円



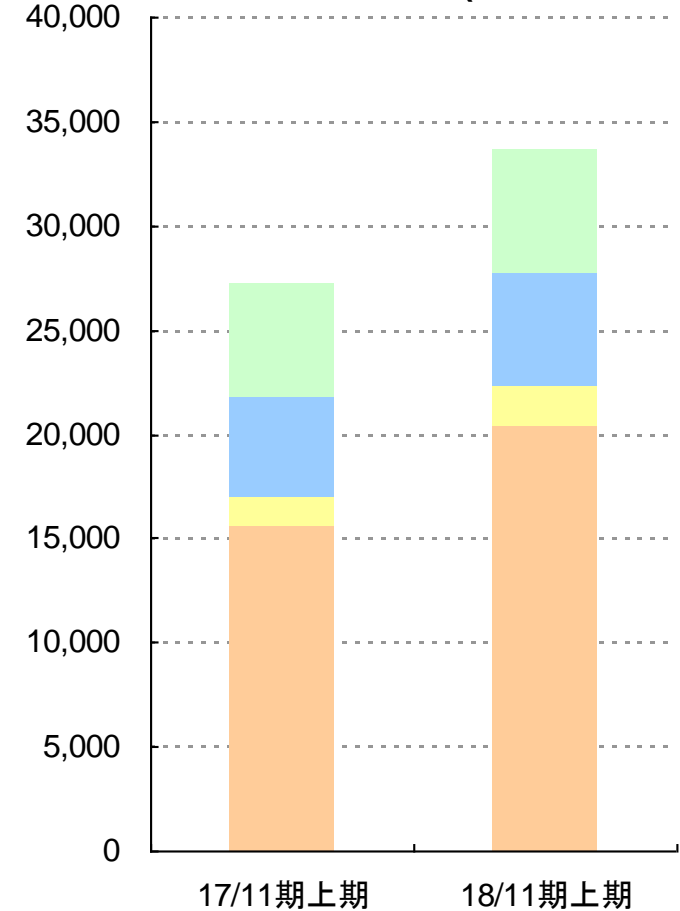
連結子会社の業績

マルカ単体、海外子会社は堅調。国内子会社がやや苦戦

単位:百万円

	売上高		営業利益		経常利益	
	17/11期	18/11期	17/11期	18/11期	17/11期	18/11期
	上期	上期	上期	上期	上期	上期
連結	24,668	30,384	823	1,103	958	1,197
単体	15,500	20,336	528	816	685	968
国内子会社	1,507	1,946	103	41	137	68
海外子会社	10,248	11,394	177	253	193	261
連結消去	▲ 2,587	▲ 3,291	13	▲ 7	▲ 57	▲ 101

単位:百万円 売上高の推移(連結消去前)



売上高の前上期対比

マルカキカイ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
→	→	→	→



産業機械部門



産業機械部門売上高推移

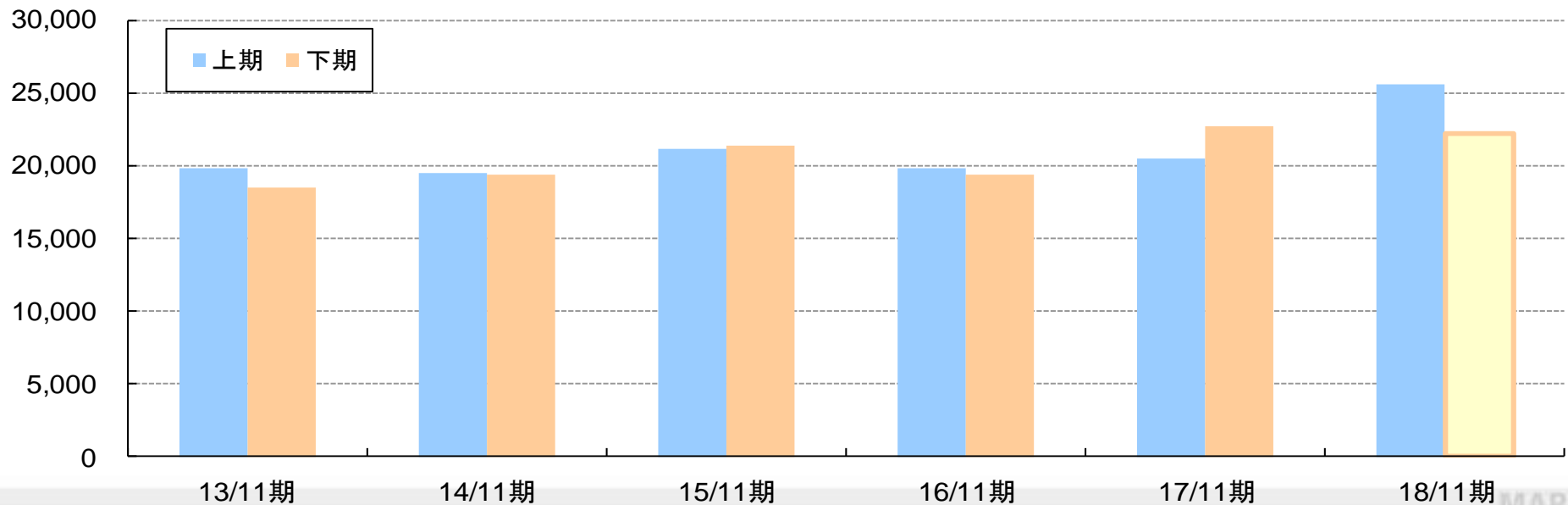
■ 上期は国内向けが好調、15/11上期を上回る水準

単位:百万円

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	前年同期比
上期	19,804	19,460	21,104	19,824	20,483	25,577	24.9
下期	18,428	19,384	21,379	19,378	22,748	22,150	▲ 2.6
合計	38,233	38,844	42,483	39,202	43,231	47,727	10.4

単位:百万円

※18/11期下期・合計は計画数値



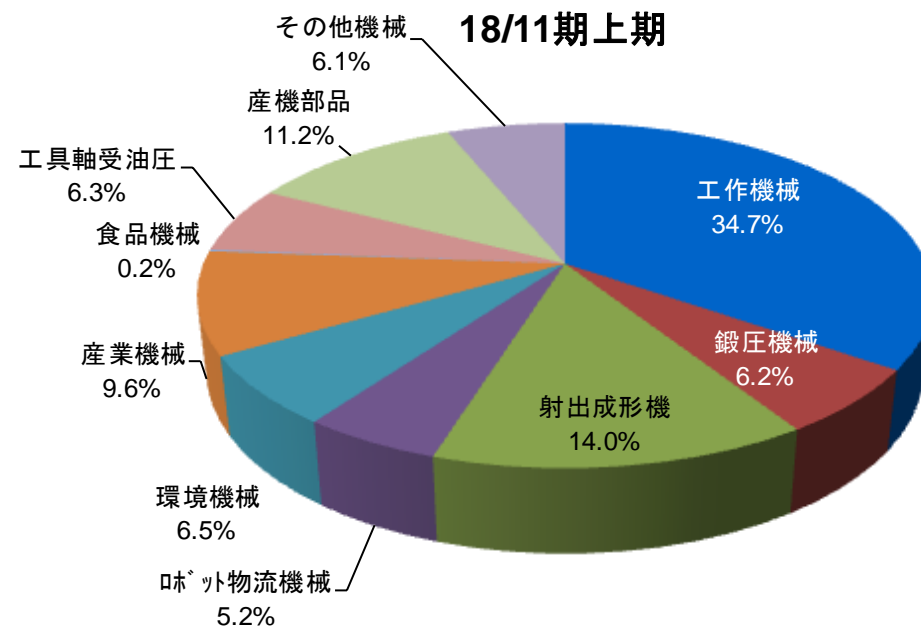
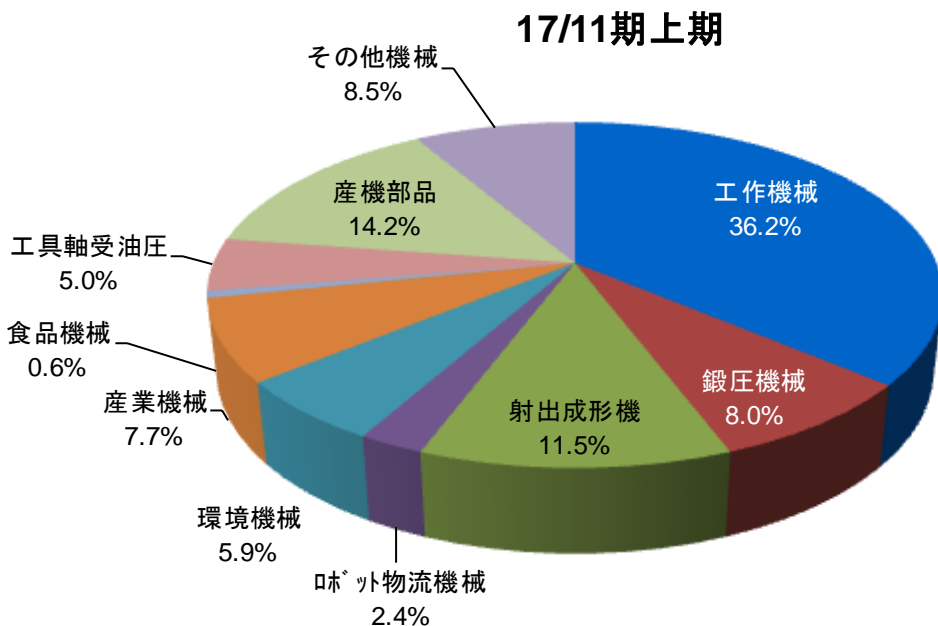
産業機械部門 — 商品別売上高



主力の工作機械をはじめ、射出成形機、産業機械、工具・軸受関係も二桁増収
 前期不調のロボット関係も大幅増

単位：百万円

	産業機械計										
	工作機械	鍛圧機械	射出成形機	ロボット 物流機械	環境機械	産業機械	食品機械	工具軸受 油圧	産機部品	その他 機械	
17/11期上期	20,483	1,648	2,358	499	1,209	1,572	127	1,016	2,905	1,735	
18/11期上期	25,577	1,582	3,572	1,323	1,673	2,463	42	1,602	2,855	1,586	
前年同期比 (%)	24.9	▲ 4.0	51.4	164.9	38.4	56.6	▲ 66.3	57.6	▲ 1.7	▲ 8.6	



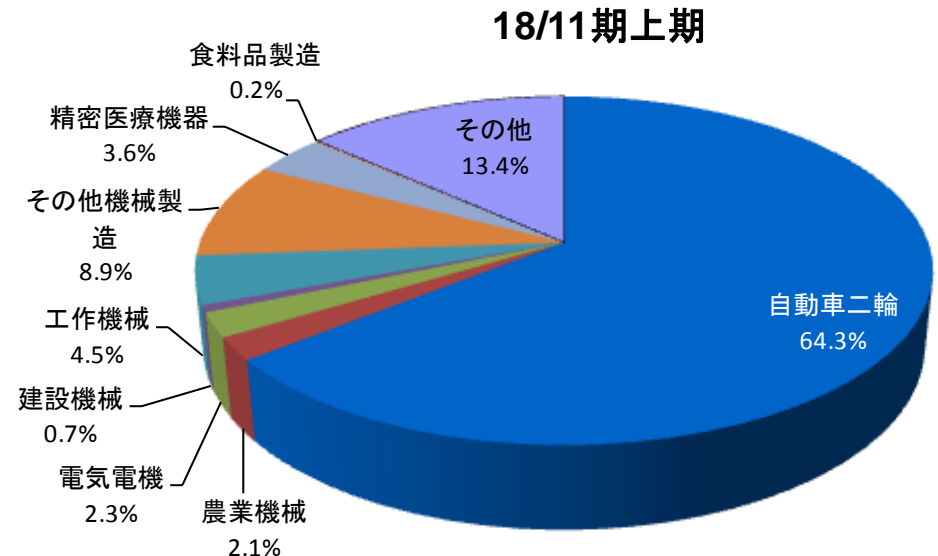
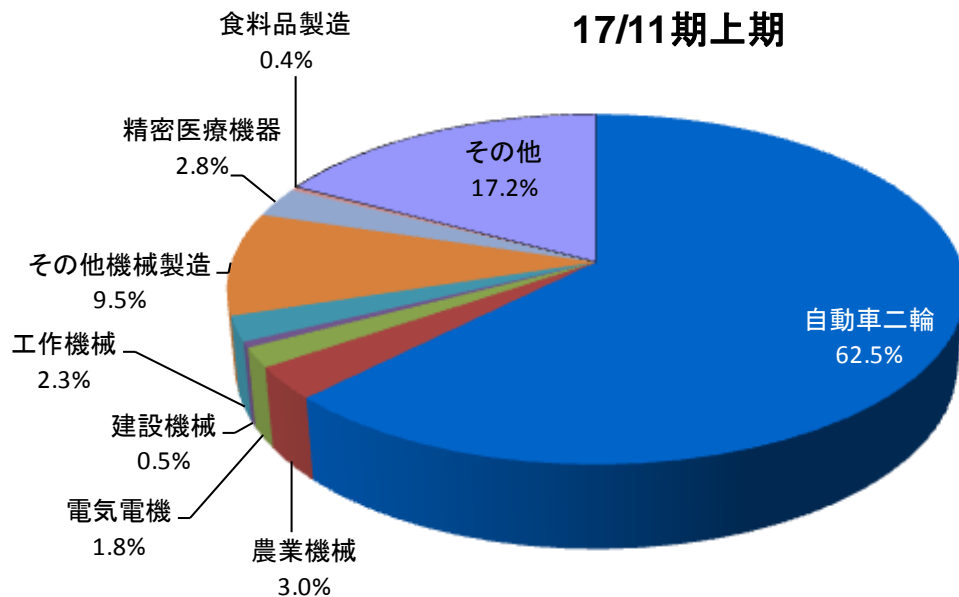
※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 業界別売上高

自動車業界向けが堅調。工作機械業界や精密医療機器業界向けも増加

単位:百万円

産業機械計										
		自動車 二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他 機械製造	精密医療 機器	食料品 製造	その他
17/11期上期	20,483	12,797	616	372	110	471	1,952	569	72	3,520
18/11期上期	25,577	16,438	544	581	167	1,141	2,271	933	47	3,451
前年同期比 (%)	24.9	28.5	▲ 11.6	56.1	52.1	142.1	16.3	64.0	▲ 34.8	▲ 2.0

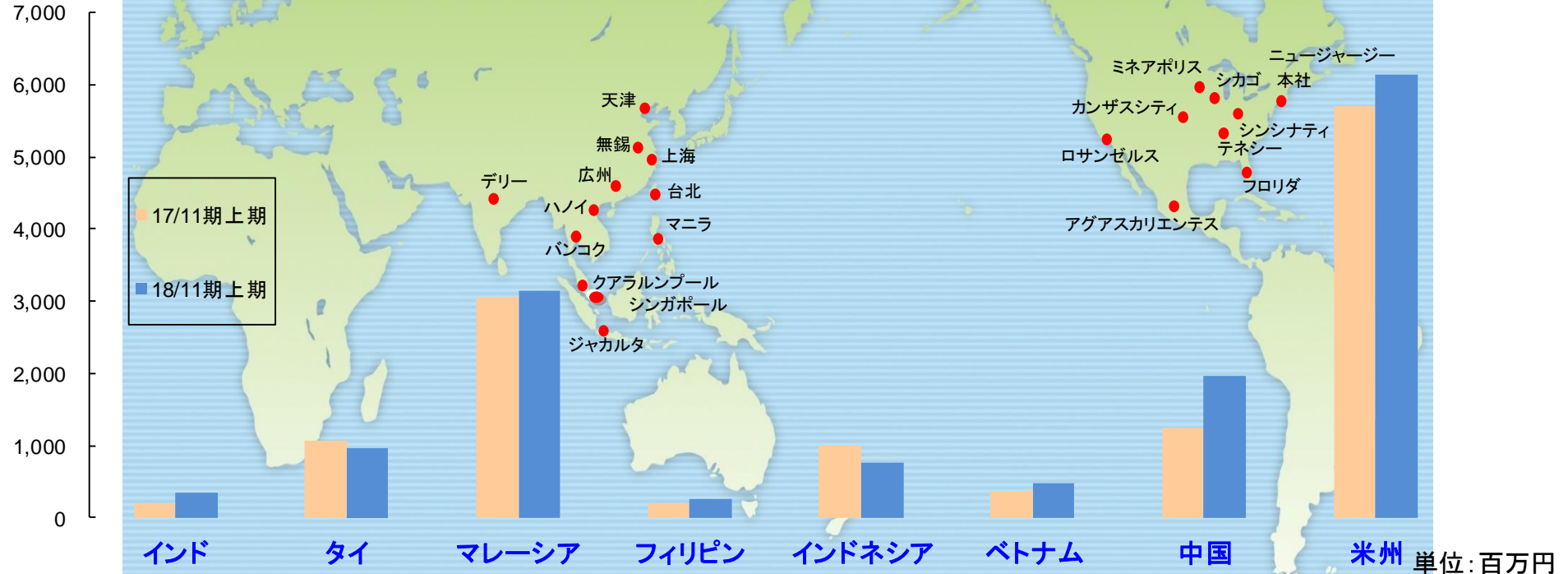


※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 地域別海外売上高



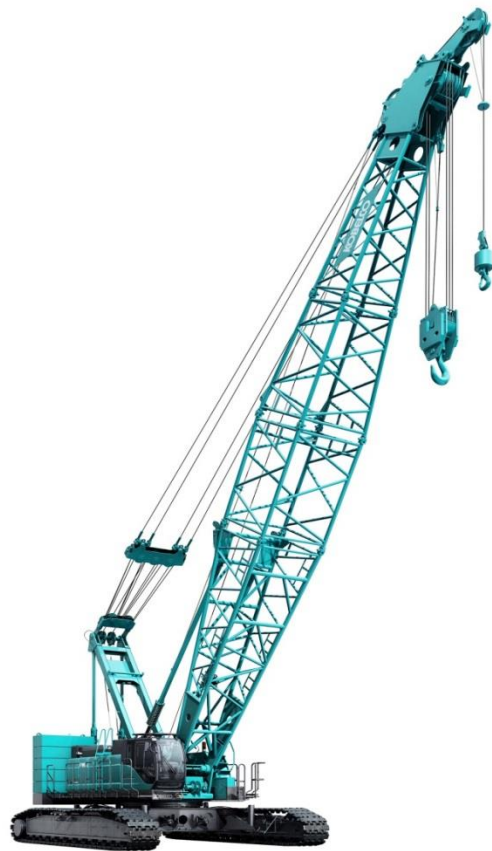
単位:百万円



拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
17/11期上期	182	1,066	3,067	198	1,001	367	1,247	5,701	36	12,869
18/11期上期	345	950	3,147	262	767	467	1,953	6,133	20	14,049
前年同期比(%)	89.3	▲ 10.8	2.6	31.8	▲ 23.3	27.2	56.5	7.6	▲ 42.3	9.2

※当社現地法人所在地のみ(国内販売海外仕向を含む)を表示 ※台湾向け売上高は、中国に含む

建設機械部門



建設機械部門売上高推移

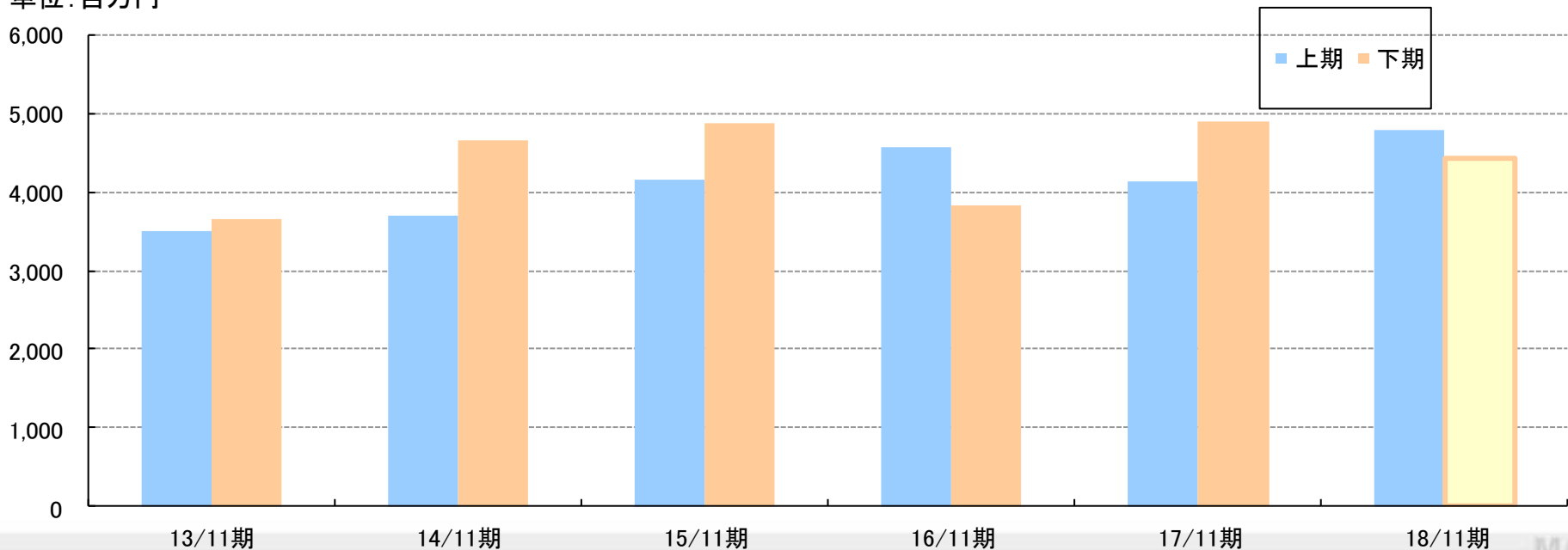
上期は主力のクレーンが伸長、16/11上期を上回る水準

単位:百万円

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期	前年同期比
上期	3,496	3,689	4,165	4,573	4,124	4,778	15.9
下期	3,650	4,666	4,878	3,829	4,902	4,422	▲ 9.8
合計	7,147	8,355	9,043	8,403	9,026	9,200	1.9

単位:百万円

※18/11期下期・合計は計画数値



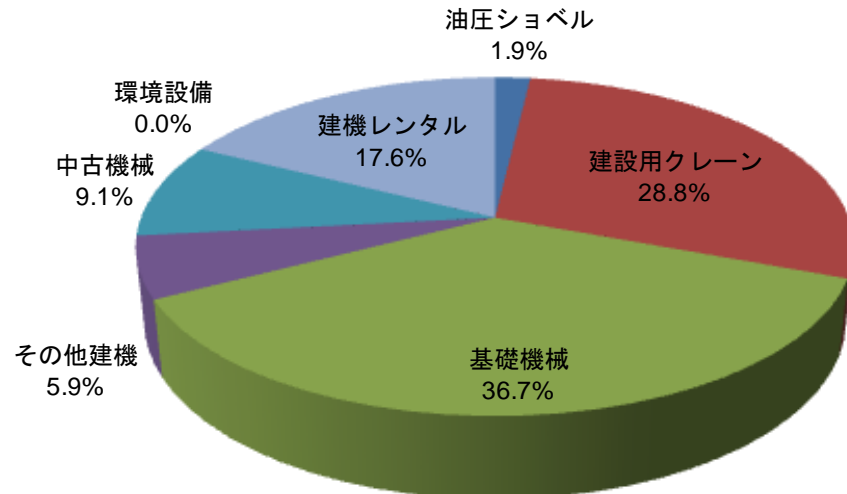
建設機械部門 — 商品別売上高

基礎機械が大幅減少も、主力商品である建設用クレーン、中古機械が大幅増

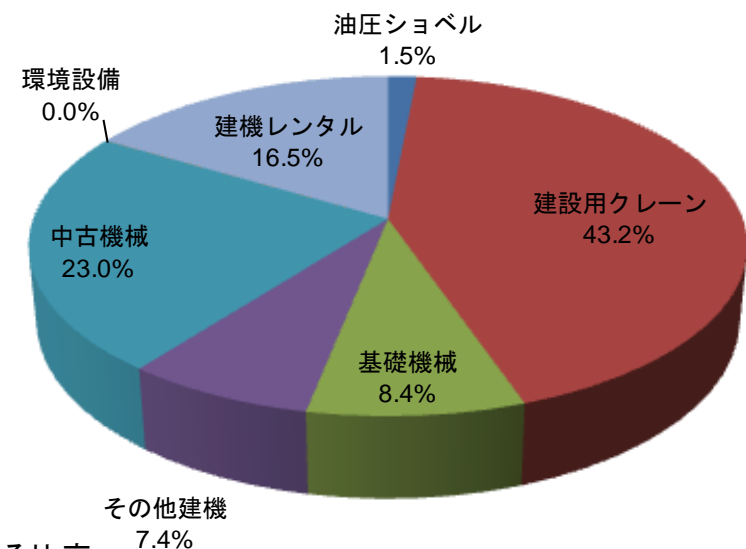
単位:百万円

	建設機械計							
	油圧ショベル	建設用クレーン	基礎機械	その他建機	中古機械	環境設備	建機レンタル	
17/11期上期	4,124	77	1,187	1,513	243	375	0	726
18/11期上期	4,778	27	2,082	406	355	1,110	1	793
前年同期比(%)	15.9	▲ 64.0	75.4	▲ 73.2	46.0	195.7	1,219.5	9.3

17/11期上期



18/11期上期



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

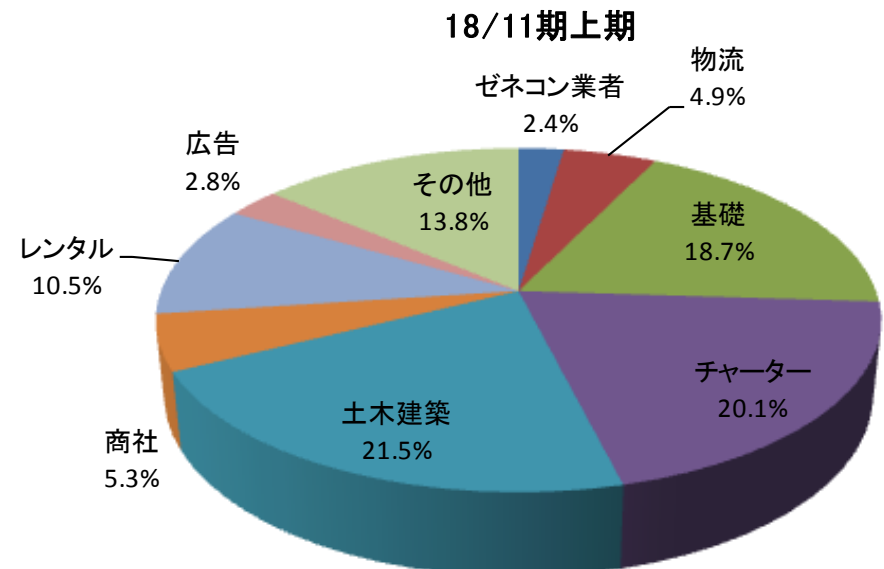
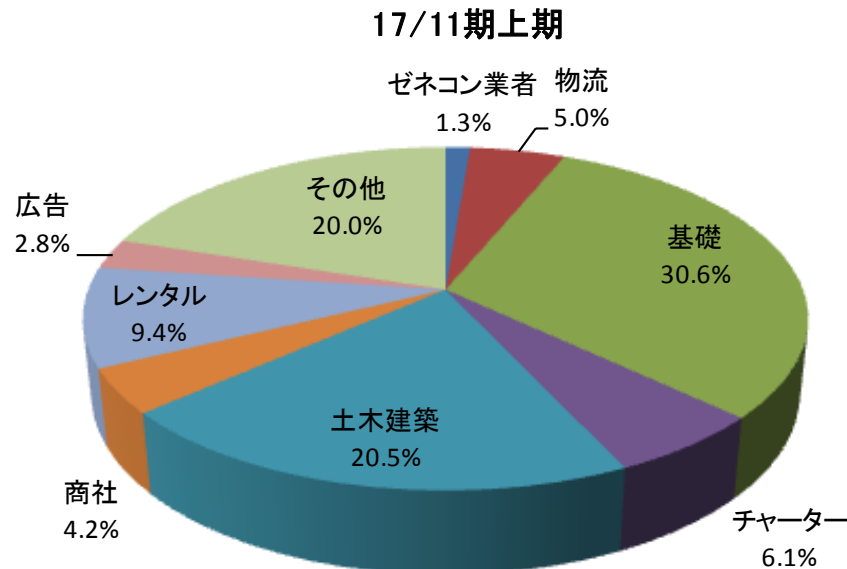
建設機械部門 — 業界別売上高

チャーター業界や土木・建築業界向けが増加

単位: 百万円

	建設機械計									
		ゼネコン 業者	物流	基礎	チャーター ※	土木 建築	商社 (輸出)	社 レンタル	広告	その他
17/11期上期	4,124	53	206	1,262	251	845	174	387	117	824
18/11期上期	4,778	113	234	894	958	1,028	252	503	132	660
前年同期比(%)	15.9	110.3	13.9	▲ 29.2	281.5	21.6	44.2	30.0	12.4	▲ 19.9

※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

2018年11月期 業績予想及び営業戦略の進捗

18/11期業績予想

中期経営計画2年目。更なる飛躍を目指す

単位：百万円

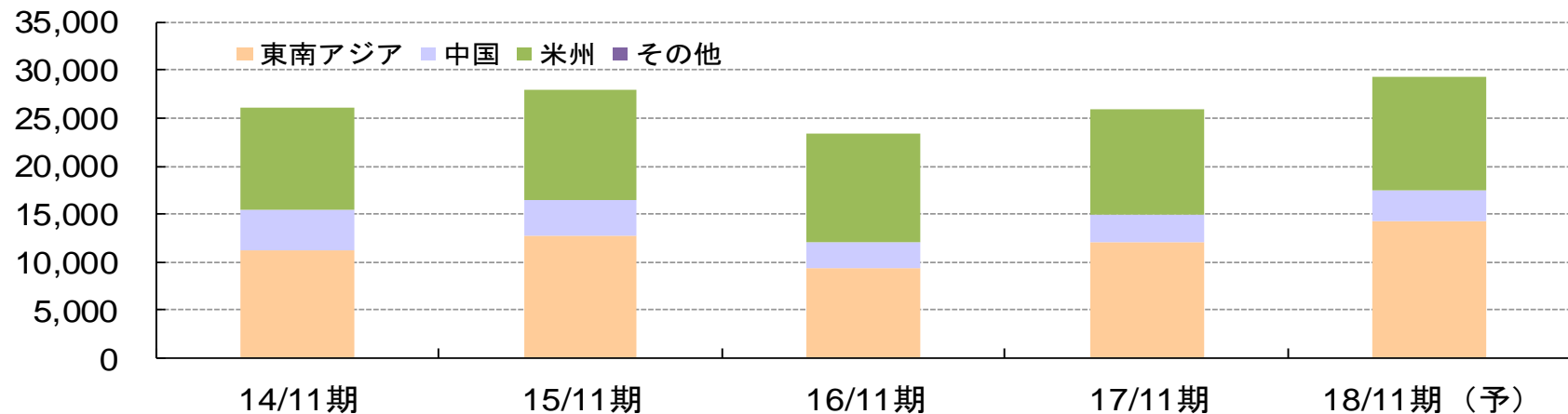
	17/11期	18/11期予想			前期比 (%)
		上期	下期	通期	
売上高	52,363	30,384	26,616	57,000	8.9
産業機械	43,231	25,577	22,150	47,727	10.4
内、グローバル機材	8,720	4,243	5,757	10,000	14.7
建設機械	9,026	4,778	4,422	9,200	1.9
その他	106	28	45	73	▲ 31.2
売上総利益	7,579	4,214	3,966	8,180	7.9
販売管理費	5,682	3,111	2,869	5,980	5.2
営業利益	1,894	1,103	1,097	2,200	16.1
経常利益	2,095	1,197	1,203	2,400	14.5
親会社に帰属する当期純利益	1,235	721	779	1,500	21.4
1株当たり当期純利益	144.31円	85.14円	90.49円	175.63円	—
期末(想定)為替レート米ドル/円	112円07銭	—	—	105円00銭	—
1株当たり配当金	40円	20円	23円	43円	—

海外売上高の推移

単位:百万円

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想
米州	10,612	11,528	11,279	10,916	12,000
中国	4,191	3,806	2,680	2,840	3,200
東南アジア(含むインド)	11,293	12,680	9,393	12,153	14,200
その他	70	276	4	0	0
海外売上合計	26,167	28,292	23,357	25,910	29,400
海外売上高比率(%)	55.4	54.8	49.0	49.5	51.6
期末為替レート	118円23銭	122円82銭	112円42銭	112円07銭	105円00銭

単位:百万円



営業戦略の進捗(産業機械・グローバル機材部門)

～米 州～

【事業環境】

北米市場は着実な景気回復の継続により、設備投資は緩やかな増加を維持

▽北米における工作機械販売テリトリーの拡大

- ・今上期の北米における工作機械の売上高は、航空機、医療業界を中心に18億円(前年同期比12%減)

▽エンジニアリング機能を発揮。ITI社、管製作所製品の積極投入

- ・ITI社製品は、MM部門とのシナジー効果による自動化関連の売上が増加し今上期売上高は3.6億円
- ・管製作所製品については、米国にて洗浄機を初めてIMTSに出展予定、19年度の受注を目指す

▽北米の日系企業向け販売の更なる拡大とともに米系現地企業の開拓を推進

- ・営業要員を増員し、今上期の日系企業向け売上は大口案件もあり前年同期比大幅増
- ・米系現地企業向けについては、管製作所製品等を販売施策中

▽北米市場における電動射出成形機の大型機、縦型機のさらなる伸長

- ・販売台数は75台の実績で、今上期の北米電動機台数シェア7.5%(前期から2%ダウン)になるも増収増益

▽Fu-Chun-Shin製(台湾射出成形機メーカー)製油圧式プラスチック成形機のシェアアップ

- ・今上期の販売台数は14台の実績
- ・マーケットシェアも1.2%(前上期0.8%)を超え認知度も上昇中(通期30台の販売を見込む)

営業戦略の進捗（産業機械・グローバル機材部門）

～東南アジア～

【事業環境】

タイ、インドネシア市場が底を脱し、回復基調

日系自動車向け設備、部品消耗品などの現地調達の推進を図る。今期は前期比17%を予想
 （注力業界・商品）

- タイ・マレーシア = 今上期はタイ国内販売は苦戦するも、マレーシアにおける自動車部品販売は堅調に推移
 食品機械の売上は2千7百万円
- インドネシア = 部品売上が増加も、工作機械の売上が低調
- ベトナム = ロボット・搬送機械関連売上が大幅増
- フィリピン = 射出成形機、部品・サービス売上が増加
- インド = 工作機械の売上が大幅増

～中国～

【事業環境】

中国市場は設備需要を背景に好況と予想

- ▽今上期は自動車業界向けを中心に、工作機械、鍛圧機械、環境設備の売上が伸長
- ▽今期は、従来の日系企業ユーザー中心から現地企業ユーザーへ販売を強化

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想	
								上期	通期
中国製機械	9.0	13.0	18.0	16.0	13.3	10.4	8.3	4.0	10.0
台湾製機械	7.3	6.8	8.3	8.0	4.4	2.1	3.9	0.5	3.0

営業戦略の進捗(産業機械・グローバル機材部門)

～目 本～

【事業環境】

工作機械の堅調さが続くと予想

▽さらなる海外売上高の増加を目指した大手製造会社向け海外進出のバックアップ

・今上期の海外売上高は140億円で、前年同期比9%増(海外売上高比率46.4%)

▽部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想	
								上期	通期
部品・修理・消耗品	67	85	93	100	146	131	137	80	150

▽重点商品の射出成形機(東洋機械金属)、鍛圧板金機械(コマツ産機)の市場拡大

・今上期の国内取引実績は、射出成形機(東洋機械金属)が27台、鍛圧板金機械(コマツ産機)は25台

▽ロボットの更なる販売強化

・今上期のロボットシステムの国内取引実績は194台。(前上期は29台)

自動車業界向けに、スポット溶接ロボットを大口受注

▽MM会商品の取扱いをさらに拡大。食品機械メーカー1社が新たに加

売上高/億円	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想	
								上期	通期
MM会商品	15億	33	36	43	39	35	34	19	40

▽新市場、成長分野への取り組み

・FOOMA展に食品機械メーカーと共同で初めて出展

・EV関連では、新機種設備が年内に完成。19年度から納入が始まる

営業戦略の進捗(建設機械部門)

～目 本～

【事業環境】

建築工事は底堅い

▽2020年へ向けての国内需要へ対応

コンクリートポンプ車の全国的販売展開

・今上期の販売実績は、九州を中心に計11台、1.5億円の売上高

▽輸入建設機械商品群の取扱い拡充

・Magni社(イタリア)のテレハンドラー(荷役車両)及び現代製ホイールショベルは、今上期での販売には至らずも、Magni社にて、ユーザー同行で工業見学・実機でのデモを行うなど販売推進中

・KALMAR社(フィンランド)のリーチスタッカー(荷役機械)を1台受注

・ドイツ製岩石掘削機アタッチメント(ERKAT社)の今上期の販売実績は4台

・ドイツ製切削機アタッチメント(KEMROC社)の今上期の販売実績は3台

▽レンタル機の入替えによる収益UPを図る

今上期のレンタル売上は前年同期比9%増の7.9億円

主な輸入建設機械商品

KALMAR社のリーチスタッカー



MAGNI社のテレハンドラー



HYUNDAI社のホイールショベル



トピックス① インセンティブプランの導入

従業員向け株式給付信託の導入

《導入目的》

- ① 福利厚生充実・中長期的な資産形成への支援
- ② 従業員のモチベーションの向上・経営への参加意識の向上

《プランの概要》

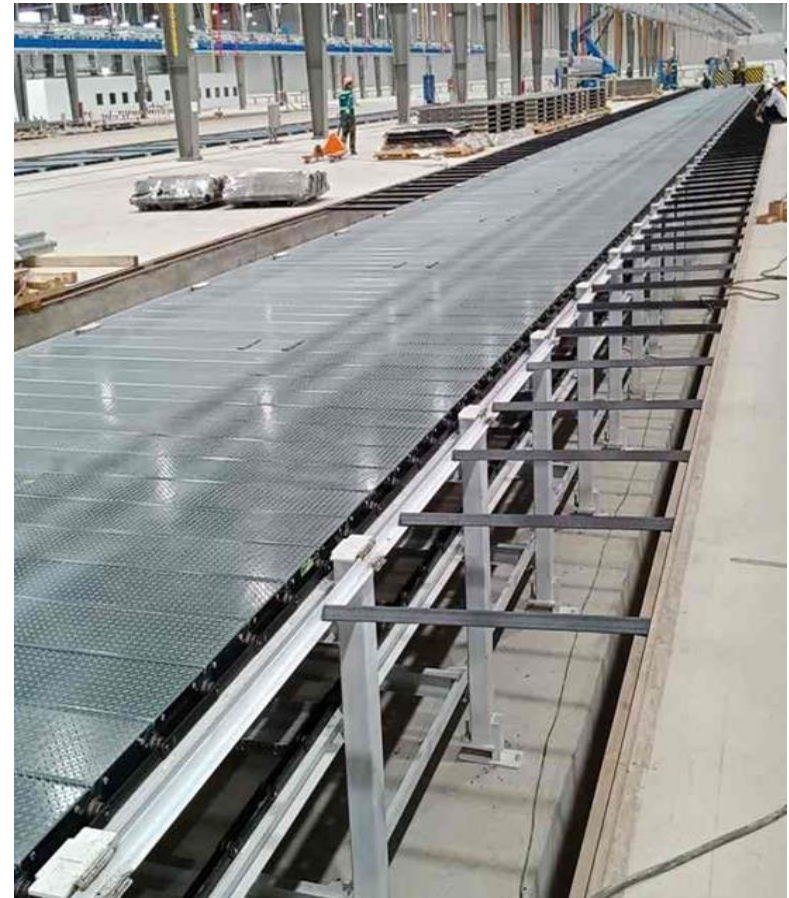
- ① 予め当社が定めた従業員株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした従業員に対して当社株式を給付
- ② 当社は、従業員に対して会社の業績達成度合等に応じてポイントを付与し、ポイントを当社株式に交換して給付
- ③ 給付予定株数：120,000株
- ④ 信託拠出金総額：249,240,000円

トピックス② ベトナム現地大手企業グループ会社と取引開始

ベトナム大手 VIN GROUPの子会社向けに受注

- ① ベトナム最大大手不動産会社
VIN GROUP子会社のVIN FAST
ハイフォン工場向けに、電動スクー
ター組立用の周辺機器、スラット
コンベアを受注
- ② 受注総額は約7億円、
下期に納入完了予定
- ③ 今後さらにVIN GROUPとの取引
を拡大すべく販売戦略を施策中

133mのスラットコンベア



株主還元

配当方針及び配当金の推移

配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。総還元性向は40%を目指します。(2017年11月期の総還元配当性向は43%)

1株当たり配当金及び配当性向の推移

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期 (期初予想)	18/11期 (修正予想)
中間配当	10円	12円	15円	15円	17円	19円	20円
期末配当	(※1) 13円 (記念2円)	14円	20円	(※2) 22円 (記念2円)	23円	23円	23円
年間配当	23円	26円	35円	37円	40円	42円	43円
配当性向	14.3%	14.6%	17.9%	34.9%	27.7%	23.9%	24.5%

(※1) 上場15周年記念配当2円を含む (※2) 創立70周年記念配当2円を含む

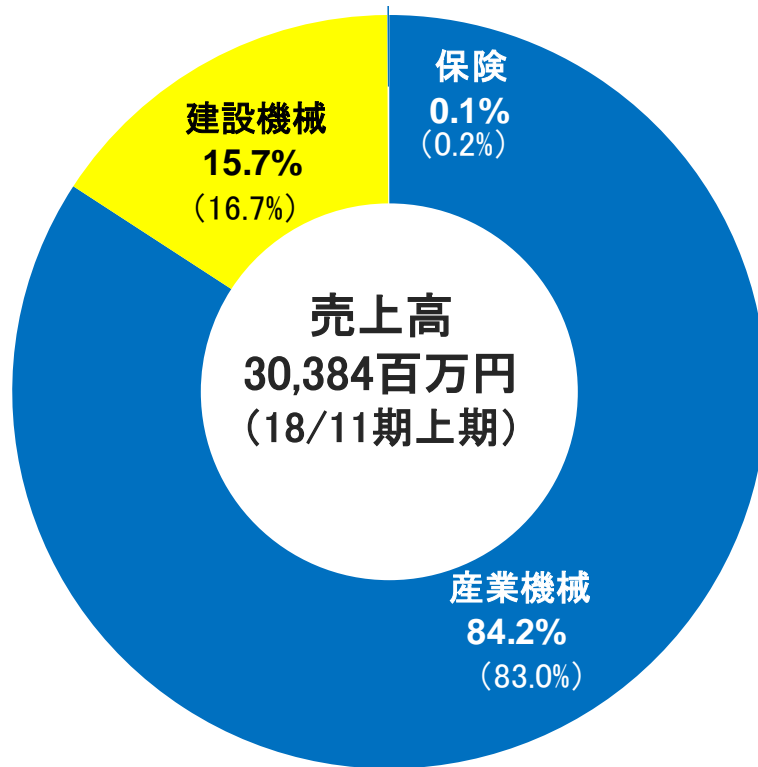
*2015年11月期に約4.5億円、2016年11月期に約1.8億円、2017年11月期に約1.9億円、2018年上期に約2.8億円の自社株を取得

補足資料

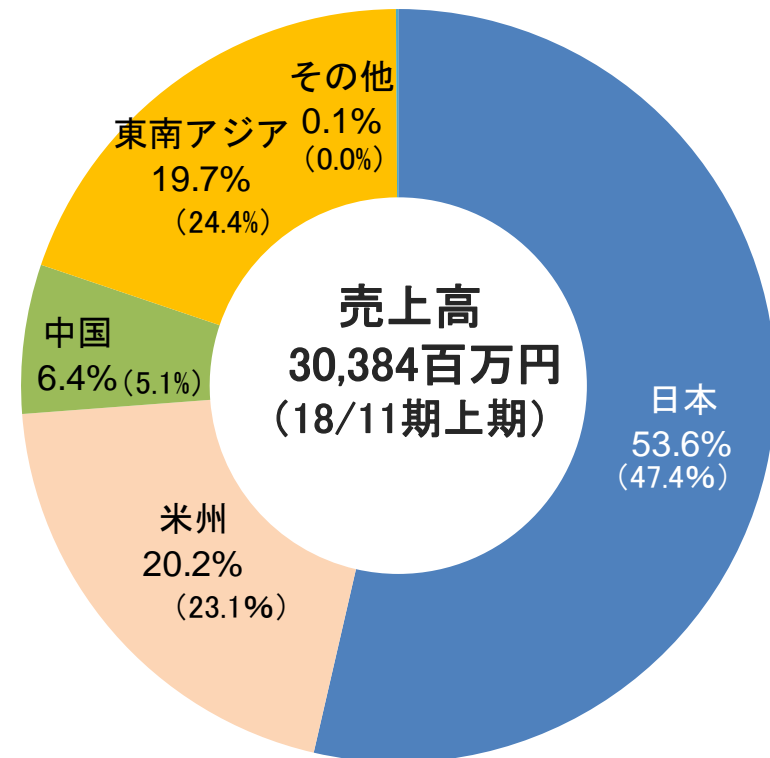
事業内容

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

部門別売上高構成



地域別売上高構成



※括弧内は17/11期上期売上高24,668百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

産業機械部門 — 主な取扱い製品

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

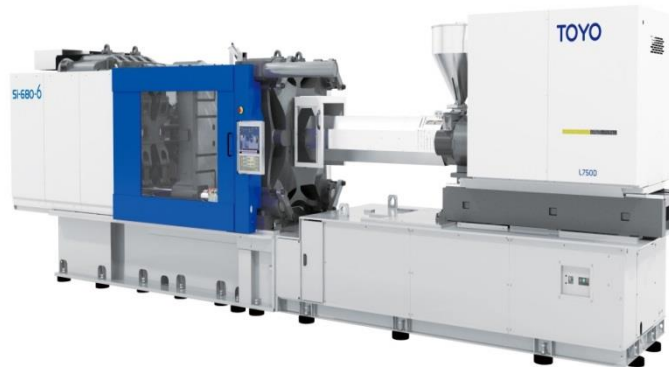
取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械(東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK
 ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等)
- ✓ 鍛圧機械(コマツ産機・ソノルカエンジニアリング)
- ✓ 射出成形機(東洋機械金属)



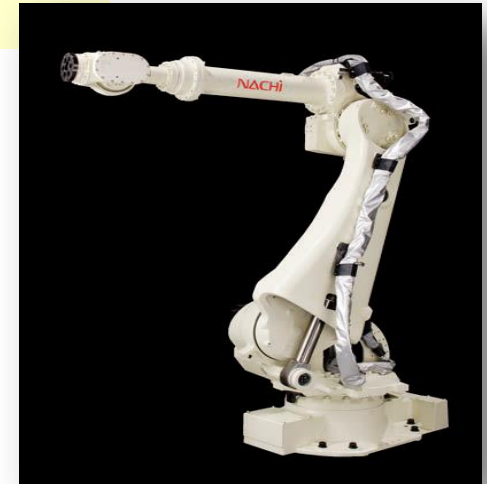
例①工作機械(マシニングセンタ)

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します。



例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます。



例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います。

建設機械部門 — 主な取扱い製品

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル(コベルコクレーン)
- ✓ 杭打機・圧入機(技研製作所)
- ✓ アースオーガー(三和機工)
- ✓ 発電機(デンヨー)
- ✓ 地盤改良機(ワイビーエム)



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います。



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、地盤の改良を行います。



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に活躍します。

当社の強み① グローバルネットワーク1

国内に13か所、米州に11か所、中国に4か所、東南アジア・インドに8か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

米州



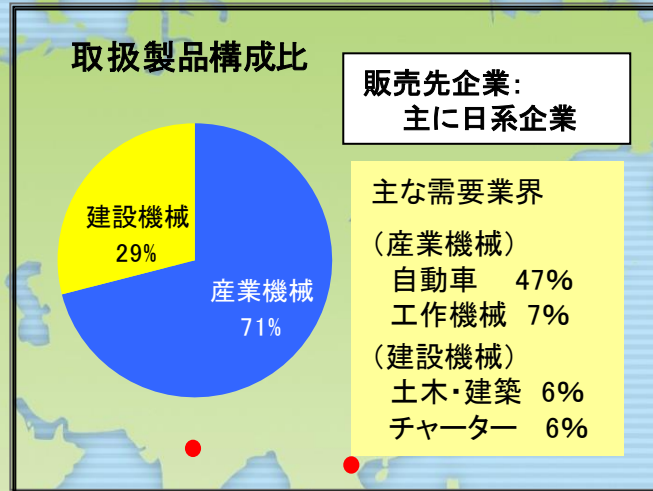
中国・東南アジア・インド



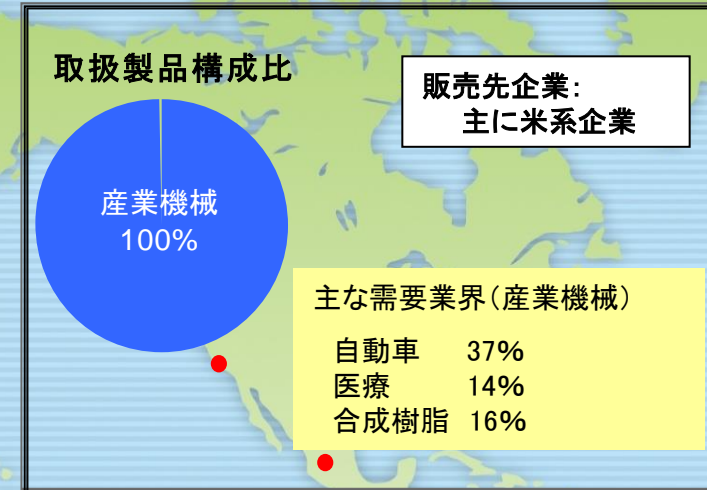
当社の強み① グローバルネットワーク2

日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立

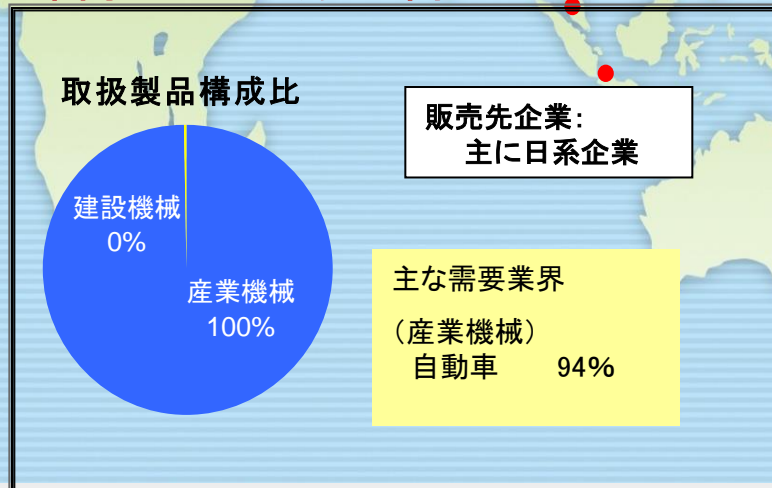
日本国内向け売上高



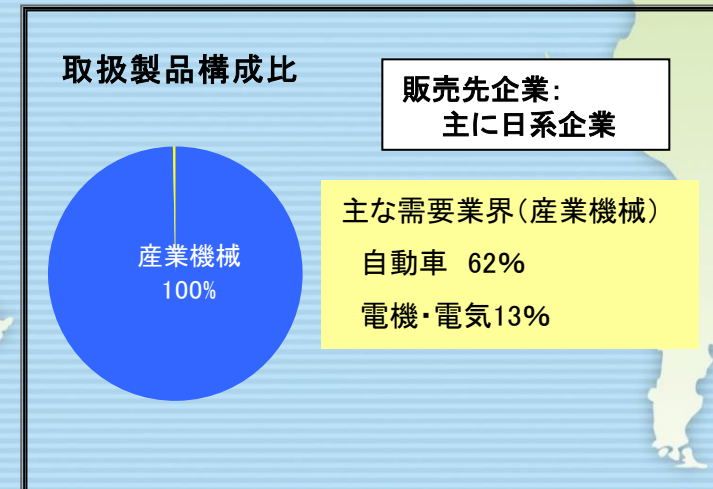
米州向け売上高



東南アジア向け売上高



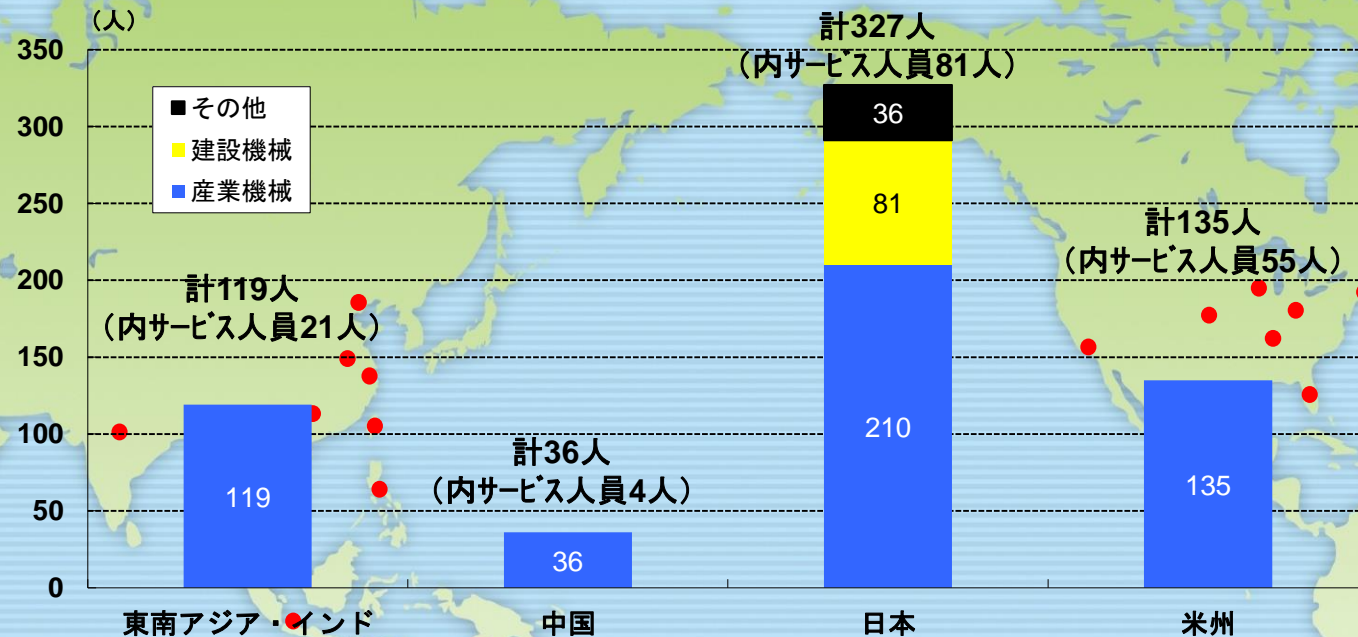
中国向け売上高



当社の強み① グローバルネットワーク3

- 世界4極に617人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大
- サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4超となる161人体制を構築

地域別の従業員数



全地域 合計	機械		合計 (その他含む)	内 サービス人員
	産業機械	建設機械		
	500人	81人	617人	161人

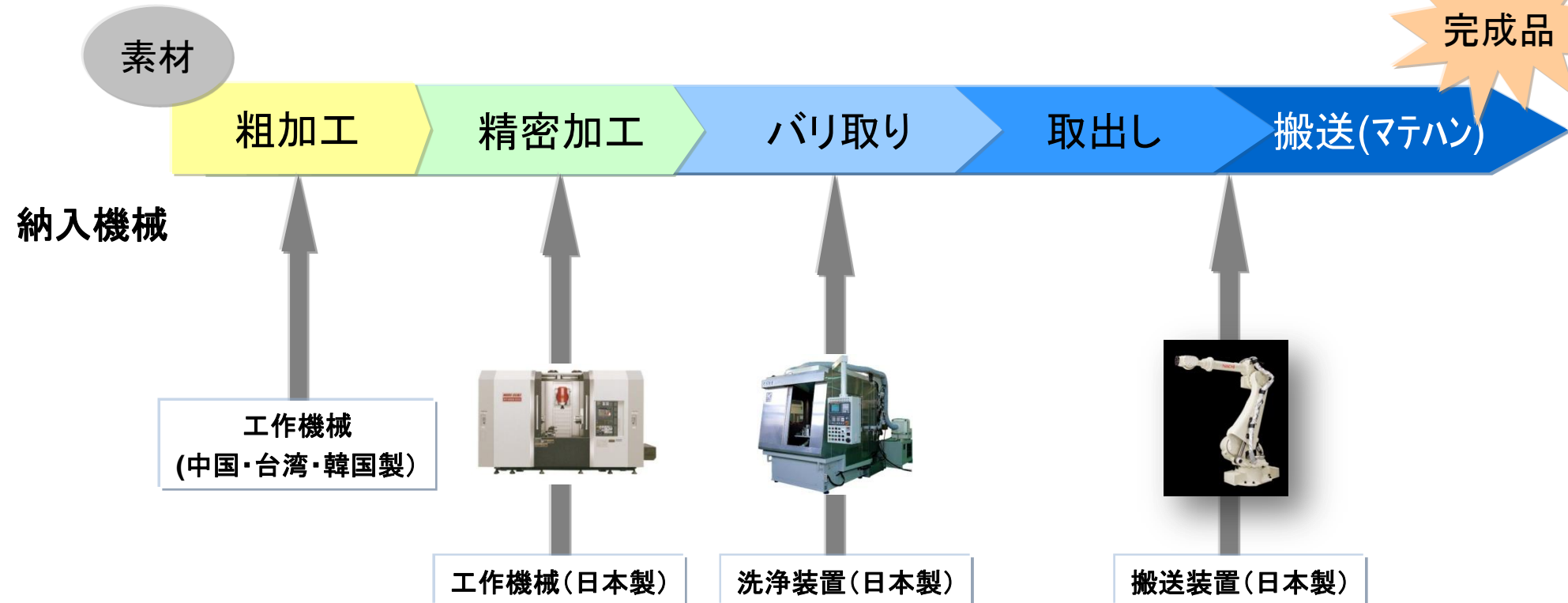
※ 2018年5月31日時点

当社の強み② 提案型システム営業

- お客様のニーズに合った、省力化省人化の工場システムを提案
ライン一括受注を目指し、付加価値の高いシステムを構築

《提案イメージ》

お客様の生産ライン



当社の強み② 提案型システム営業-MM会

MM(マルカ・メーカー)会

機械専門商社であるマルカキカイと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています。

2018年5月末日現在の会員メーカー数は、24社となっています。

株 大 鑄	ショットブラストマシン(ジクストリッパー)、各種研掃材	大阪府高槻市
大 峰 工 業 株	チップコンベア、ノンタッチシステム、ツイン200	大阪市北区
株 光 栄 製 作 所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先 生 精 機 株	プログラムレス自動面取機、バリ取専用機、3Dインラインチッカー	静岡県清水市
株 コ ス モ テ ッ ク	プレス修理	名古屋市緑区
千 代 田 工 業 株	パイプベンダー、パイプ自動加工機、FA省力機器	大阪市淀川区
株 ユ ー テ ッ ク	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三 愛 エ コ シ ス テ ム 株	産業廃棄物適正処理システム・処理機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
株 紀 和 マ シ ナ リ ー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高 橋 金 属 株	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
株 富 士 精 機 販 売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市
株 大 進 工 業 研 究 所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鑄造品加工	大阪市大正区

(次頁に続く)

ターケット・エンジニアリング(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
電元社トーア(株)	各種抵抗溶接機・特殊専用機・治具・省力化機器の製造販売	神奈川県川崎市
(株)ワイエムジー	オートローダー装置、ロボットシステム装置、自動化装置設計・販売	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器・システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種線材加工用機械、各種工作機械、専用治工具・省力自動機械、各種試験機・設計製作	大阪市平野区
(株)ハル技研研究所	金属工作機械製造	岡山県岡山市
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置、各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
(株)アースシステム21	豆腐製造機械・製麺製造機械の設計、製造、販売	岡山県岡山市
ソノルカエンジニアリング(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCTランスファー、冷却システム	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

タイMM会 12社

CHIYODA KOGYO	チューブ及びパイプベンダー
COSMO	プレス修理、オーバーホール
DENYO ASIA	溶接ケーブル、溶接機、サーボガン
EUREKA DESIGN	洗浄機、リークテスター、専用機
KANTO ENGINEERING	産業用メンテナンス
DGENSHA	各種抵抗溶接機製造・販売

NISSEN KOHKI	洗浄機、エアリークテスター
ROBOT SYSTEM	パレタイジング・溶接・搬送ロボット
SORIME	機械設計・製造、機械電装設計
TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	洗浄機、乾燥機、治具、溶接部品
THAI TAKIGAMI	FA電装設計、溶接機、溶接治具
TOCHU	ショットブラスト装置、水平コンベア

海外売上高・商品別売上高(連結)

海外売上高(国内売り・海外仕向含む)

(単位:百万円)		17/11期 上期	18/11期 上期	前年同期比%
米	州	5,701	6,133	7.6
中	国	1,251	1,953	56.1
ア ジ ア	タ イ	1,066	950	▲ 10.8
	インドネシア	1,014	804	▲ 20.7
	マレーシア	3,067	3,147	2.6
	フィリピン	198	262	31.8
	インド	182	345	89.3
	ベトナム	367	471	28.1
	シンガポール	31	9	▲ 69.9
	韓国	54	0	▲ 99.9
	その他アジア	31	—	▲ 100.0
	ア	アジア計	6,014	5,990
そ	の他	0	11	—
合計		12,967	14,089	8.7

商品別売上高

(単位:百万円)

		17/11期上期		18/11期上期		前年同期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
業 機 械	工 作 機 械	7,409	30.0	8,874	29.2	19.8
	鍛 圧 機 械	1,648	6.7	1,582	5.2	▲ 4.0
	射 出 成 形 機	2,358	9.6	3,572	11.8	51.4
	ロ ボ ッ ト 物 流 機 械	499	2.0	1,323	4.4	164.9
	環 境 設 備	1,209	4.9	1,673	5.5	38.4
	産 業 機 械	1,572	6.4	2,463	8.1	56.6
	食 品 機 械	127	0.5	42	0.1	▲ 66.3
	工 具 軸 受 油 圧	1,016	4.1	1,602	5.3	57.6
	産 機 部 品	2,905	11.8	2,855	9.4	▲ 1.7
	産 機 そ の 他	1,735	7.0	1,586	5.2	▲ 8.6
機 械	産業機械計	20,483	83.0	25,577	84.2	24.9
建 設 機 械	油 圧 シ ョ ベ ル	77	0.3	27	0.1	▲ 64.0
	建 設 用 ク レ ー ン	1,187	4.8	2,082	6.9	75.4
	基 礎 機 械	1,513	6.1	406	1.3	▲ 73.2
	そ の 他 建 機	243	1.0	355	1.2	46.0
	中 古 機 械	375	1.5	1,110	3.7	195.7
	建 機 レ ン タ ル	726	2.9	793	2.6	9.3
	環 境 設 備	0	0.0	1	0.0	—
	機 械	建設機械計	4,124	16.7	4,778	15.7
保険・その他		61	0.3	28	0.1	▲ 52.7
合計		24,668	100.0	30,384	100.0	23.2

業界別売上高(連結)

(単位:百万円)		17/11期上期		18/11期上期		前年同期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
業	自動車二輪	12,797	51.9	16,438	54.1	28.5
	農業機械	616	2.5	544	1.8	▲ 11.6
	電気電機	372	1.5	581	1.9	56.1
	建設機械	110	0.5	167	0.6	52.1
	工作機械	471	1.9	1,141	3.8	142.1
	その他機械製造	1,952	7.9	2,271	7.5	16.3
	精密医療機器	569	2.3	933	3.1	64.0
	IT関連	232	0.9	110	0.4	▲ 52.4
	食料品	72	0.3	47	0.2	34.8
	鋼製家具	189	0.8	39	0.1	▲ 79.2
	合成樹脂	1,305	5.3	1,195	3.9	▲ 8.4
	プラント加工機	-	0.0	-	0.0	---
	繊維機械	7	0.0	20	0.1	171.6
	防衛	-	0.0	90	0.3	---
機	エネルギー・化学	28	0.2	41	0.1	45.9
	住宅建材	21	0.1	-	0.0	▲ 100.0
	リース	7	0.0	84	0.3	---
	商社	161	0.7	66	0.2	▲ 58.6
	造船	2	0.0	6	0.0	155.0
	鉄道運輸	66	0.3	109	0.4	63.2
	航空機	171	0.7	285	0.9	67.0
	その他	1,335	5.2	1,410	4.5	5.6
	計	20,483	83.0	25,577	84.2	24.9

(単位:百万円)		17/11期上期		18/11期上期		前年同期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
建	ゼネコン業者	53	0.2	113	0.4	110.3
	物流	206	0.8	234	0.8	13.9
	基礎	1,262	5.1	894	2.9	▲ 29.2
	チャーター	251	1.0	958	3.2	281.5
	土木・建築	845	3.4	1,028	3.4	21.6
	商社	174	0.7	252	0.8	44.2
	レンタル	387	1.6	503	1.7	30.0
	広告	117	0.5	132	0.4	12.4
	その他	824	3.3	660	2.2	▲ 19.9
	建設機械計	4,124	16.7	4,778	15.7	15.9
機	保険・その他	61	0.3	28	0.1	▲ 52.7
合計		24,668	100.0	30,384	100.0	23.2

注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。